■ 節 電 行 動 計 画

（平成30年7月～9月）

施設名称	東部浄化センター	施設管理者	下水道課長
	節電管理者 下水道課長	節電副管理者	
	節電管理者	節電副管理者	
	節電管理者	節電副管理者	

節電目標	平成22年度同月の電力使用量比で△5%	節 電 実 績	

下水道終末処理場における４つの基本アクションを実施します。

東部浄化センターの電気使用量は、下水道終末処理場として汚水処理のため稼動する施設の電気使用量が大部分を占めています。この汚水処理施設の稼動時間は、流入する汚水量に比例することになりますが、次のような節電メニューに取組み東部浄化センター全体の電気使用量の削減に努めます。

	チェック		建物全体に対する節電効果
汚泥脱水機の運転方法の見直し	レ	電気使用量の少ない新設の脱水機を主機として運転します。	５％
給排気ファン運転の見直し	レ	水処理棟、汚泥棟における給排気ファンについて効率的な間欠運転を行い、電力の削減に努めます。	
照明	レ	屋外では水銀灯の消灯。屋内では使用していないエリア（会議室、廊下等）の消灯を徹底します。	
設備･機器の適切なメンテナンスの徹底	レ	機器の能力低下に至らぬよう、定期的なメンテナンスを徹底する。	

さらに節電効果が期待できる以下のアクションも実施します。

	チェック	
空調等動力機械	レ	フィルター掃除は１ヵ月に１度実施します。
	レ	扇風機などの補助機器により対流を図り、効率化を図ります。
照明機器	レ	自然光で照度が賄える部分は消灯します。
	レ	執務室内の照明は適正な照度を保ちつつ、最小限の点灯に心掛けます。
	レ	昼休み時間は一斉消灯します。
	レ	監視室の照明を５０％以上削減します。
	レ	トイレ室内は原則使用時だけ点灯します。
ＯＡ機器	レ	２時間以上の離席時には、ＰＣを「シャットダウン」します。
	レ	２時間以内の離席時には、ＰＣを「スタンバイ」にします。
	レ	待機電力が発生する周辺機器は使用時以外、電源オフにします。
	レ	夜間等、業務に支障のない機器の電源アダプターのコンセントを抜きます。
	レ	印刷出力時は、縮小・複合・両面等で印刷枚数(稼働時間)を削減します。
	レ	夜間、監視室のモニターを電源オフにします。
	レ	ファックス受信は、電子メールを活用したメール受信に極力移行を依頼し、印刷出力を削減します。
その他の機器	レ	冷蔵庫の庫内温度を適切に設定（強→中）し、効率的に使用します。
	レ	庫内清掃、整理を行い、冷気循環を考慮した整頓をします。
	レ	冷蔵庫の無駄な開閉をやめます。
	レ	電気ポットは使用後コンセントから電源プラグを抜きます。